



準備編

本編

資料

DIGITAL PIANO  
P - 115

取扱説明書

ご使用の前に必ず5~7ページの「安全上のご注意」をお読みください。

**オートパワーオフ機能**

この楽器には、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能が搭載されています。オートパワーオフ機能とは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。

詳しくは10ページをご覧ください。



# もくじ

こんなことができます .....	3	メトロノーム/リズムのテンポ設定 .....	18
取扱説明書について .....	4	メトロノーム/リズムの音量の設定 .....	18
付属品(お確かめください) .....	4	<b>演奏に伴奏を付ける(ピアニストスタイル)</b> .....	19
安全上のご注意 .....	5		
<b>準備編</b>			
<b>各部の名前と機能</b>	<b>9</b>		
<b>ご使用前の準備</b>	<b>10</b>		
電源の準備 .....	10	かんたん録音 .....	20
電源を入れる/切る .....	10	パートごとに録音する .....	20
オートパワーオフ機能 .....	10	ユーザー ソングを削除する .....	21
音量を調節する .....	11	ユーザー ソングの設定を書き換える .....	21
鍵盤の操作音を設定する .....	11		
ヘッドフォンを使う .....	11		
フットスイッチを使う .....	12		
別売のペダルユニットを使う .....	12		
<b>本編</b>			
<b>音色を選んで弾く</b>	<b>13</b>		
音色を選ぶ .....	13	<b>困ったときは</b> .....	25
より音量感のあるサウンドで演奏する(サウンドブースト) .....	13		
2つの音色を重ねる(デュアル) .....	13	<b>仕様</b> .....	25
右手と左手で違う音色を弾く(スプリット) .....	14		
二人で一緒に弾く(デュオ) .....	15	<b>索引</b> .....	26
<b>その他演奏に関する設定をする</b>	<b>16</b>		
<b>曲(ソング)を再生する</b>	<b>17</b>	<b>リスト</b> .....	27
音色デモ曲を聞く .....	17	<b>クイックオペレーションガイド</b> .....	28
ピアノ50曲を聞く .....	17		
<b>メトロノーム/リズムを鳴らす</b>	<b>18</b>		
メトロノームの拍子の設定 .....	18		
リズムの選択 .....	18		

## こんなことができます

- ◆グレードハンマースタンダード(GHS)鍵盤を搭載。アコースティックピアノを弾いているような、本格的なピアノ演奏が楽しめます。
- ◆ピアノの名曲50曲を内蔵。鑑賞したり、右手または左手パートをオフにして練習したりできます。  
(→17、22ページ)
- ◆コードを押さえるだけで伴奏がつく「ピアニストスタイル」、演奏を華やかに彩る「リズム」搭載で、手軽にピアニスト気分を味わえます。  
(→18、19ページ)
- ◆録音機能やメトロノーム機能を使って、練習を楽しく効率的に進められます。  
(→18ページ)
- ◆お使いのiPhone/iPad/iPod touchに専用アプリケーション「Digital Piano Controller」(無料)をインストールすると、さまざまな機能をより簡単に楽しめます。  
(→23ページ)

ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この楽器の優れた機能を十分に活かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。  
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

## 取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

### 冊子マニュアル



- 取扱説明書(本書)  
クイックオペレーションガイド (28、29ページ)  
ボタンや鍵盤に割り当てられた機能の一覧表です。

### 電子マニュアル (PDF形式)



- iPhone/iPad接続マニュアル  
この楽器をiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。



- コンピューターとつなぐ  
この楽器とコンピューターを接続する方法や、データを送受信する方法などを説明しています。



- MIDIリファレンス  
この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。



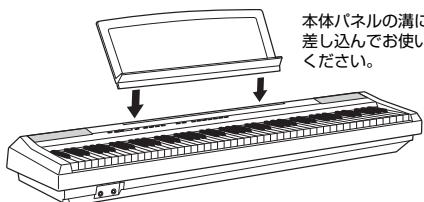
- MIDI入門  
MIDIについての基礎知識を説明しています。

上記マニュアルは、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、モデル名を入力して検索してください。

ヤマハ ダウンロード <http://download.yamaha.com/jp/>

### 付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書)
- ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)
- 保証書
- フットスイッチ
- 電源アダプター
- 製品ユーザー登録のご案内
  - \* ユーザー登録の際に必要となるプロダクトIDが記載されています。
- 譜面立て



# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。  
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



## 警告



ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。

電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



電源アダプターは、室内専用のため屋外及び水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。

禁止

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



## 注意



製品は電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**警告**

**電源 / 電源アダプター**

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。  
また、電源コードに重いものをのせない。

禁止

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



**電源は必ず交流100Vを使用する。**  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



**電源アダプターは、必ず指定のもの(25ページ)を使用する。**  
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、  
ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

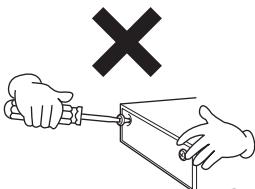
必ず実行

**分解禁止**

この製品の内部を開けたり、内部の部品を  
分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止

**水に注意**

禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**  
感電のおそれがあります。

**火に注意**

禁止

本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

**異常に気づいたら**

必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なにおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

# ⚠ 注意

## 電源 / 電源アダプター



たこ足配線をしない。

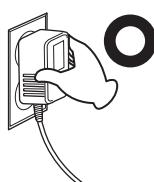
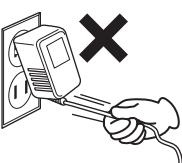
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

必ず実行

感電や火災、故障の原因になることがあります。

## 設置



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止



本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行



この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず実行



指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

必ず実行

## 接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。  
感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

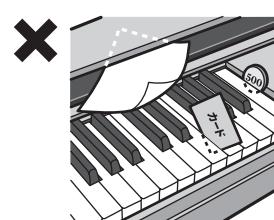
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[**h**](スタンバイ / オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[**h**](スタンバイ / オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- ・本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

- ・手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

### ■ データの保存に関する注意

- ・この楽器の一部のデータ(24ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、コンピューターなどの外部機器に保存してください。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- ・ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私の使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。  
\* 上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
- \* 上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

### ■ 調律について

- ・調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

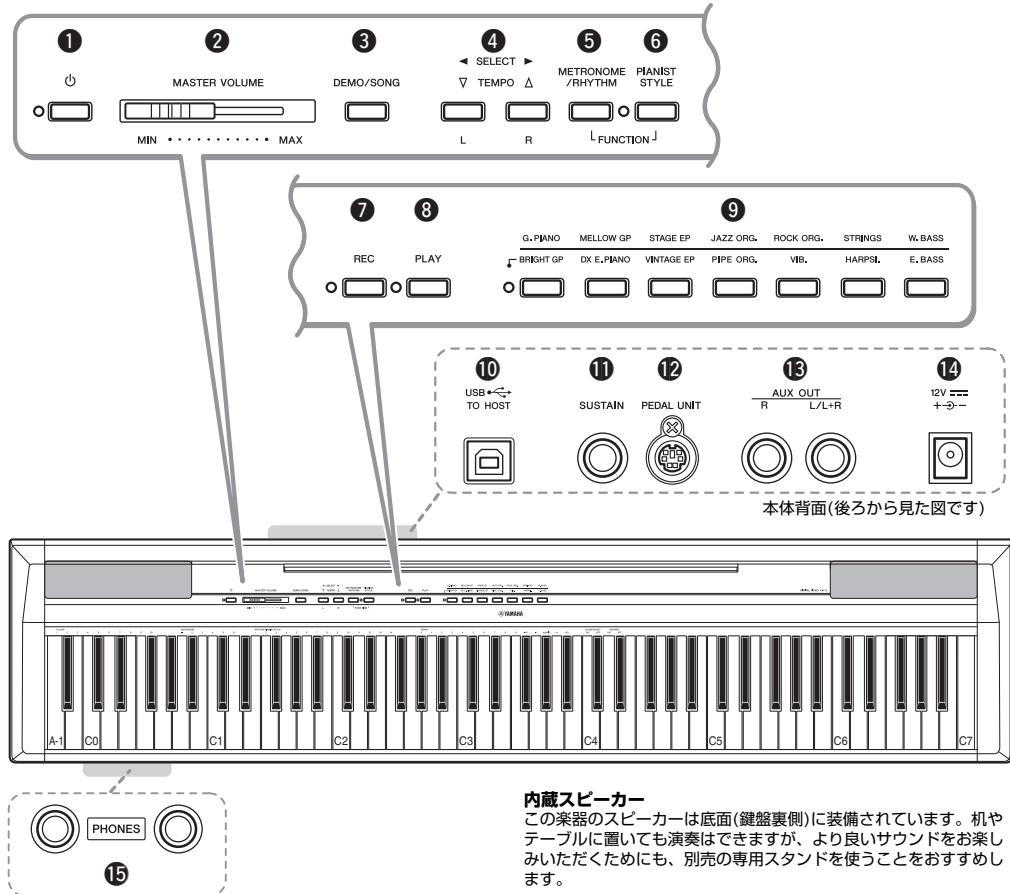
機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

**機種名**

**製造番号**

(bottom\_ja\_02)

# 各部の名前と機能



## 内蔵スピーカー

この楽器のスピーカーは底面(鍵盤裏側)に装備されています。机やテーブルに置いても演奏はできますが、より良いサウンドをお楽しみいただくためにも、別売の専用スタンドを使うことをおすすめします。

- ① [電源] (スタンバイ/オン)スイッチ ..... 10ページ  
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
- ② [MASTER VOLUME] スライダー ..... 11ページ  
音量を調節します。
- ③ [DEMO/SONG] ボタン ..... 17ページ  
デモ曲やピアノ曲を聞くことができます。
- ④ TEMPO [△][▽]、SELECT [◀][▶] ボタン ..... 17ページ  
再生中のデモ曲/内蔵曲を切り替えたり、テンポを設定したり、録音/再生のパートを選択したりします。
- ⑤ [METRONOME/RHYTHM] ボタン ..... 18ページ  
練習用のメトロノームやリズムを鳴らします。
- ⑥ [PIANIST STYLE] ボタン ..... 19ページ  
ピアニストスタイルを使って演奏します。
- ⑦ [REC] ボタン ..... 20ページ  
演奏を録音します。
- ⑧ [PLAY] ボタン ..... 20ページ  
録音した演奏(ユーザーソング)を再生します。
- ⑨ 音色ボタン ..... 13ページ  
パネルに印刷されている、各音色を切り替えます。

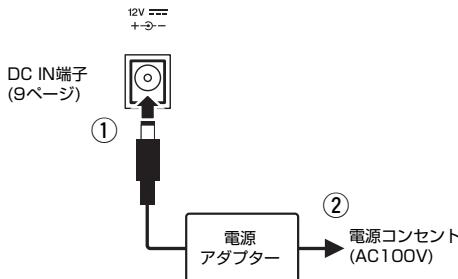
- ⑩ [USB TO HOST] 端子 ..... 24ページ  
コンピューターやiPhone、iPadなどのスマートデバイスと接続します。
- ⑪ [SUSTAIN] 端子 ..... 12ページ  
付属のフットスイッチや、別売のフットスイッチ/ペダルを接続します。
- ⑫ [PEDAL UNIT] 端子 ..... 12ページ  
別売のペダルユニットを接続します。
- ⑬ [AUX OUT [R] [L/L+R]] 端子 ..... 23ページ  
オーディオ機器へのステレオ/モノラル出力用端子です。
- ⑭ [DC IN 端子 (+ -)] ..... 10ページ  
付属の電源アダプターを接続します。
- ⑮ [PHONES] 端子 ..... 11ページ  
ヘッドフォンを接続します。

# ご使用前の準備

## 準備編

### 電源の準備

図の順序で電源アダプターを接続します。



#### ⚠️ 警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(25ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

#### ⚠️ 注意

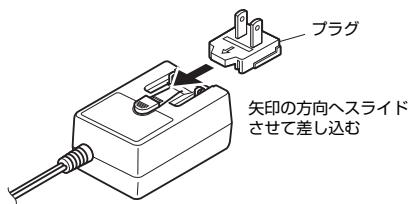
- 電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### NOTE

- 電源アダプターを外すときは、[**↓**](スタンバイ/オン)スイッチを切ってから、逆の手順で行なってください

### プラグ部分が外れるタイプの電源アダプターの場合

電源アダプターのプラグは外さないでください。外れてしまった場合は、内部の金属部分に手を触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。



#### ⚠️ 警告

- 電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグを取り付ける際、内部の金具部分は触らないでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。

### 電源を入れる/切る

- 音量を最小にします。
- [**↓**](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



電源が入ると、[**↓**](スタンバイ/オン)スイッチ左の電源ランプが点灯します。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。電源を切るには、もう一度[**↓**]スイッチを押します(1秒)。

#### ⚠️ 注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

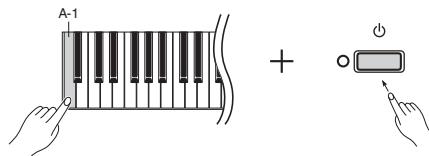
### オートパワーオフ機能

無駄な電力消費を防ぐための機能です。この機能により、30分何も操作をしないと自動的に電源が切れるようになっています。電源を自動的に切りたくない場合は、以下の手順でオートパワーオフ機能を無効にしてください。

#### オートパワーオフ機能を無効にする

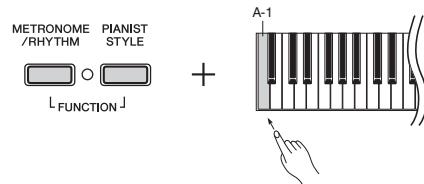
##### 楽器の電源が入っていない場合

A-1(左端の鍵盤)を押したまま[**↓**](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。電源ランプが3回点滅し、オートパワーオフ機能が無効になります。



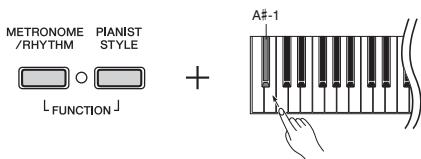
##### 楽器の電源が入っている場合

[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままA-1(左端の鍵盤)を押します。



## オートパワーオフ機能を有効にする

電源が入っている状態で、[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままA#-1を押します。

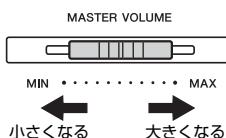


### 注記

- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で30分間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために23ページの手順に従って外部機器と本体の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフ機能を無効にしてください。

## 音量を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、[MASTER VOLUME]で音量を調節します。



## インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)

楽器の全体音量の大小に応じて、自動的に音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。

### IAC機能のオン/オフ

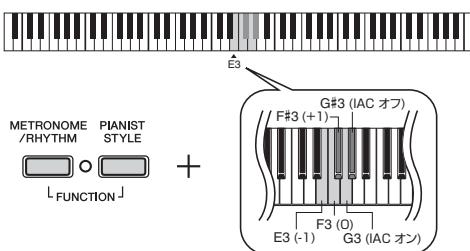
[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままG3を押すとオン、G#3を押すとオフになります。

初期設定：オン

### 補正のかかり具合の調節

[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままE3～F#3のどれかを押します。E3で1ずつ減り、F#3で1ずつ増え、F3で初期値(0)に戻ります。

設定範囲：-3～0～+3



## 鍵盤の操作音を設定する

この楽器では、ボタンと鍵盤を使っていろいろな設定ができる、設定時には操作音が鳴ります。

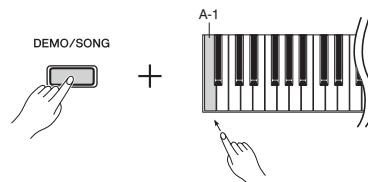
操作音は3種類(オン、オフ、その他の設定)ありますので、音の違いで操作を確認できます。ボタンと鍵盤に割り当てられた機能については、28、29ページのクイックオペレーションガイドをご覧ください。

### 操作音のオン/オフの設定

操作音はオン(鳴らす)/オフ(鳴らさない)を設定できます。

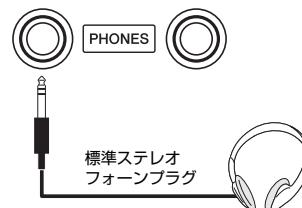
[DEMO/SONG]を押したままA-1(左端の鍵盤)を押します。A-1を押すたびにオン/オフが切り替わります。

初期設定：オン



## ヘッドフォンを使う

この楽器には[PHONES]端子が2つあるので、ヘッドフォンを2台同時に使えます。1台だけ使う場合は、どちらの端子に接続してもかまいません。いずれかの端子に接続するとスピーカーからは音が出なくなります。

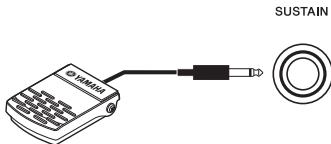


### 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

## フットスイッチを使う

付属のフットスイッチを接続することで、ピアノのダンパー・ペダルと同様、ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。また、別売のフットペダルFC3A、フットスイッチFC4A、FC5も接続できます。FC3Aではハーフペダル機能が使えます。



### ハーフペダル機能(FC3A接続時/ペダルユニット装着時)

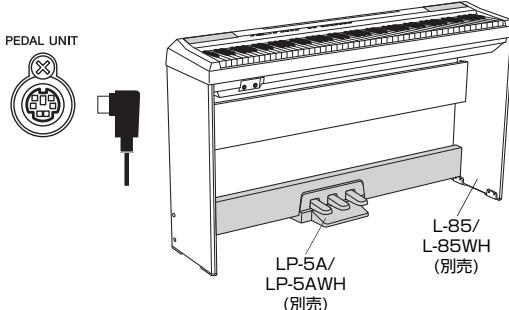
ペダルを踏んだ際、音が響きすぎる場合にペダルを踏み込んだ状態から少し戻すことで響きを抑える機能です。

#### NOTE

- フットスイッチ/フットペダルを踏んだまま楽器の電源を入れないでください。フットスイッチ/フットペダルのオン/オフが逆転します。
- フットスイッチ/フットペダルのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

## 別売のペダルユニットを使う

別売のペダルユニットLP-5A/LP-5AWHを接続すると、3本ペダルを使って演奏できます。ペダルユニットは、必ず別売の専用スタンドL-85/L-85WHに取り付けてお使いください。

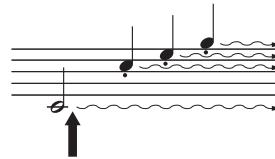


#### NOTE

- ペダルユニットのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

### ダンパー・ペダル(右のペダル)

ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。ペダルを踏み込むほど音が長く伸びます(ハーフペダル対応)。



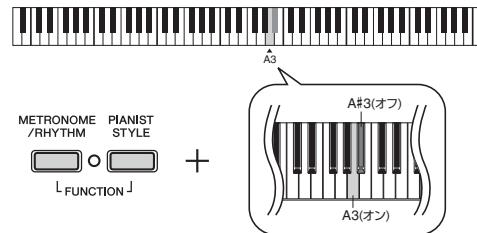
ここでダンパー・ペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

#### ●ダンパーレゾナンス

グランドピアノでダンパー・ペダルを踏んだ際の、弦どうしの共振状態を再現する機能です。

[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままA3を押すとオン、A#3を押すとオフになります。

初期設定：オン

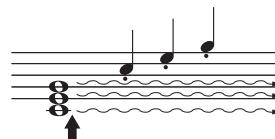


#### NOTE

- デュオ中(15ページ)は、ダンパーレゾナンスは使えません。

### ソステヌートペダル(まん中のペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。ペダルを踏んだ状態で弾いた音に対しては機能ないので、「和音を長く鳴らしながらメロディーをスタッカートで弾く」といったことができます。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが、ペダルを踏んでいる間響く

### ソフトペダル(左のペダル)

このペダルを踏んだあとに弾いた鍵盤の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。ペダルを踏んでいる間は効果が持続します。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前にペダルを踏みます。

#### NOTE

- ジャズオルガン、ロックオルガンの音色を選ぶと、左ペダルは、ロータリースピーカーの回転の速い/遅いを切り替える機能に変わります。

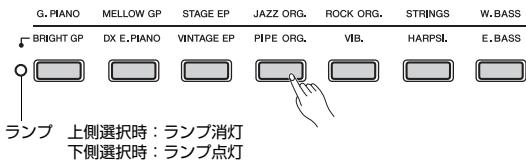
# 音色を選んで弾く

## 音色を選ぶ

鍵盤を弾いたときに鳴る楽器音(ピアノやオルガンなど)を選びます。

### 1 音色ボタンを押して、音色を選びます。

同じボタンを押すたびに、上側に印刷された音色と下側に印刷された音色が切り替わります。



#### 音色リスト

音色名	音色紹介
GRAND PIANO (グランドピアノ)	コンサートグランドピアノからサンプリングされたこの音色は、弱いタッチから強いタッチまでのなめらかな音色変化が表現できます。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
BRIGHT GRAND (ブライトグランド)	ブライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
MELLOW GRAND (メローグランド)	温かみのあるソフトなピアノの音です。バラードの演奏に最適です。
DX E.PIANO (DX エレクトリックピアノ)	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポビュラー音楽に最適です。
STAGE E.PIANO (ステージエレクトリックピアノ)	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
VINTAGE E.PIANO (ヴィンテージエレクトリックピアノ)	ステージ エレクトリックピアノと異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポビュラー音楽によく使われています。
JAZZ ORGAN (ジャズオルガン)	車両回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。別売のペダルユニット(LP-5A/LP-5AWH)を接続すると、左ペダルの操作で、エフェクト「ROTARY SP」(回転スピーカー)の回転の速い/遅いを切り替えられます。
PIPE ORGAN (パイプオルガン)	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
ROCK ORGAN (ロックオルガン)	明るくエッジのきいた電気オルガンの音です。ロックに最適です。別売のペダルユニット(LP-5A/LP-5AWH)を接続すると、左ペダルの操作で、エフェクト「ROTARY SP」(回転スピーカー)の回転の速い/遅いを切り替えられます。
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。
STRINGS (ストリングス)	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
HARPSICHORD (ハーピッシュコード)	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離したときには独特的な発音があります。
WOOD BASS (ウッドベース)	アップライトベースを指で弾く奏法の音です。ジャズやラテン音楽などによく用いられます。
E. BASS (エレクトリックベース)	エレクトリックベースの音です。ジャズ、ロック、ポビュラーなどの音楽によく用いられます。

## 2 鍵盤を弾いてみましょう。

### NOTE

- 各音色の特徴がよくわかる、音色ごとのデモソングが用意されています(17ページ)。
- オクターブを上げたり下げたりすることができます(14ページ「各音色のオクターブを上げる/下げる」の第1音色を参照)。

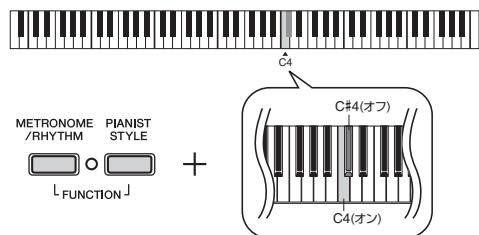
## より音量感のあるサウンドで演奏する(サウンドブースト)

楽器の音量感をアップさせる機能です。強音だけでなく弱音まで、よりはっきり聞かせたい場合に使います。

[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままC4を押すとオン、C#4を押すとオフになります。

初期設定：オフ

※ 鍵盤上部の印刷(SOUND BOOST ON/OFF)を参照してください。



## 2つの音色を重ねる(デュアル)

鍵盤を弾いたときに同時に2つの音色を重ねて鳴らします。重ねる2つの音色のうち、左側の音色ボタンで設定する音色を第1音色、右側のボタンで設定する音色を第2音色といいます。

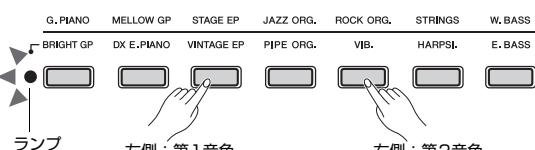
### NOTE

- 1つの音色ボタンの2音色(ストリングスとハープシコードなど)を重ねて鳴らすことはできません。

### 1 デュアルに入ります。

音色ボタンを1回か2回押して、そのまま押さえておきます。そのまま、別の音色ボタンを1回か2回押します。ランプ消灯時は上側に印刷された音色が、点灯時は下側に印刷された音色が選択されています。ボタンから指を離すことで、操作は終了です。このとき、左側のランプは第1音色の状態を表わします。

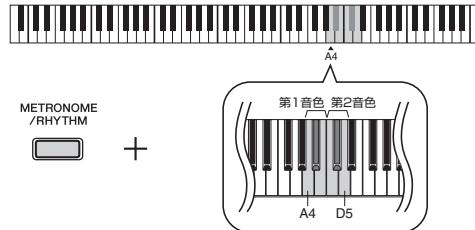
例)VINTAGE EPとROCK ORGを重ねる場合



## 2 2つの音色が重なったサウンドで、鍵盤を弾いてみましょう。

### 各音色のオクターブを上げる/下げる

[METRONOME/RHYTHM]を押したままA4～D5鍵盤のどれかを押します。

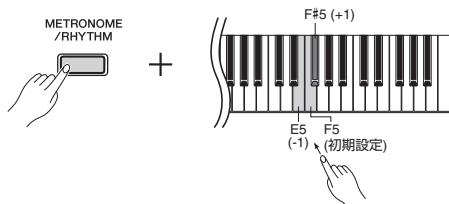


	A4	-1		C5	-1
第1音色	A#4	0 (初期設定)	第2音色	C#5	0 (初期設定)
	B4	+1		D5	+1

設定範囲：-3～0～3

### 2音色の音量バランスをとる

[METRONOME/RHYTHM]を押したままE5～F#5のどれかを押します。値が大きいほど第1音色の音量が大きくなります。



E5	-1
F5	0 (初期設定)
F#5	+1

設定範囲：-6～0～6

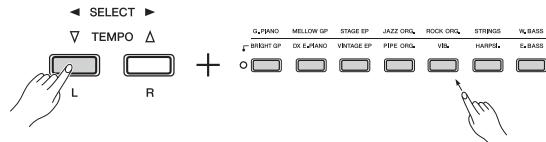
## 3 デュアルを解除するには、いずれかの音色ボタンを押します。

### 右手と左手で違う音色を弾く(スプリット)

鍵盤を左右に分けて、左手と右手で別の音色で演奏できます。左手の演奏をウッドベースで鳴らし、右手のメロディーをグランドピアノで鳴らすなど、幅広い演奏表現ができます。

#### 1 [L]を押したまま、左手側の鍵盤で鳴らしたい音色のボタンを押します。

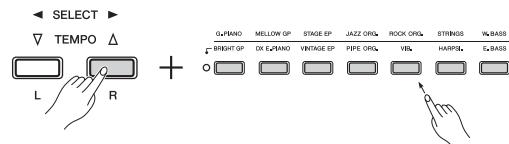
鍵盤の分かれ目(スプリットポイント)から左側の音色(第2音色)が選ばれます。



#### NOTE】

- ・デュアルとスプリットは同時には使えません。
- ・左手側にはペダル機能は使えません。

## 2 右手側の音色(第1音色)を変更する場合は、[R]を押したまま、鳴らしたい音色のボタンを押します。



### 各音色のオクターブを上げる/下げる

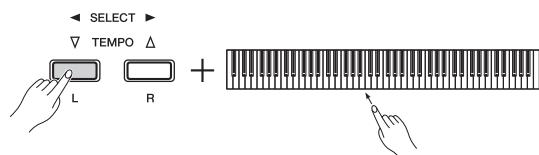
デュアルと同じです。(左記参照)

### 2音色の音量バランスをとる

デュアルと同じです。(左記参照)

### スプリットポイントの変更

[L]を押したまま、スプリットポイントを設定したい鍵盤を押します。最低音から押した鍵盤までが左手側となります。



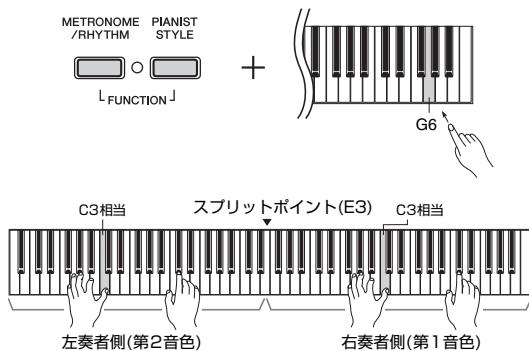
## 3 スプリットを解除するには、いずれかの音色ボタンを押します。

## 二人で一緒に弾く(デュオ)

鍵盤を左右に分けて、同時に二人が同じ音域で演奏できます。1台の楽器で二人同時に演奏したり、二人並んで座り、一人がお手本を弾き、もう一人がそれを見ながら練習する、といった使い方ができます。

### 1 [METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を押したままG6を押します。

E3がスプリットポイントとなり、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれます。



#### NOTE

- ・デュオのスプリットポイントはE3から変更できません。
- ・デュアルがオンの状態で、デュオに入るとデュアルは解除されます。音色は第1音色になります。

### 2 左側鍵域と右側鍵域に分かれて、2人で演奏しましょう。

左側で弾いている音は、左のスピーカーから、右側で弾いている音は、右のスピーカーから出ます。

#### 左側音色を選ぶ

[L]を押したまま、音色ボタンのいずれかを1回か2回押します。

#### 右側音色を選ぶ

[R]を押したまま、音色ボタンのいずれかを1回か2回押します。

#### 左側と右側を同じ音色にする

音色ボタンのいずれかを1回か2回押します。

#### 各音色のオクターブを上げる/下げる

デュアルと同じです。(→14ページ)

#### 2音色の音量バランスをとる

デュアルと同じです。(→14ページ)

## デュオ機能でのペダル効果

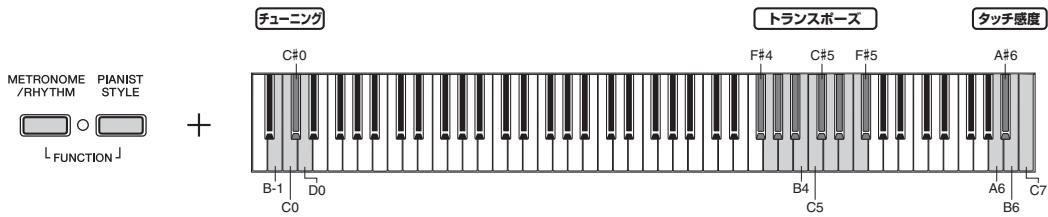
SUSTAIN端子に接続したフットスイッチの効果は、左右両方にかかります。また、別売のペダルユニット(12ページ)を接続した場合の効果は以下のとおりです。

- ・ダンパーペダル：右側鍵域のダンパー効果
- ・ソステナートペダル：左右両方のダンパー効果
- ・ソフトペダル：左側鍵域のダンパー効果

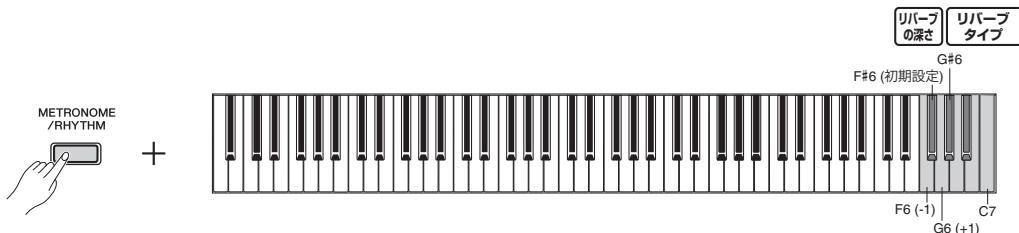
### 3 デュオを解除するには、[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を押したままG6を押します。

# その他演奏に関する設定をする

該当のボタンを押したまま、該当の鍵盤またはボタンを押すと下記の演奏に関する設定ができます。『クイックオペレーションガイド』(29ページ)もご参照ください。



項目	説明	鍵盤	内容
タッチ感度を変える	鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付きかた(タッチ感度)を設定します。鍵盤の重さ自体は変わりません。 <b>NOTE!</b> • ジャズオルガン、パイオルガン、ロッコオルガン、ハープシコードの音色ではタッチ感度による音の強弱は付きません。	A6	フィックス(固定)：タッチの違いによる音の強弱は付かず、一定の音量で鳴ります。
		A#6	ソフト：軽いタッチで大きい音を出すことができます。
		B6	ミディアム：標準的なタッチ感度です(初期設定)。
		C7	ハード：強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。
キー(調)を変える (トランスポーズ)	鍵盤を弾いたときの発音を、半音単位で上げたり下げたり(移調)します。 たとえばトランスポーズを「+5」に設定すると、「ド(C)」の鍵盤を弾いたときに「ファ(F)」の音が出ることになり、「ハ長調」の弾き方で「ヘ長調」の演奏になります。 <b>設定範囲</b> ：-6 (F#4)～0 (C5)～+6 (F#5)	F#4～B4	キーを下げます(実際の鍵盤よりも低い音を出す)。
		C5	元のキー(0)に戻します。
		C#5～F#5	キーを上げます(実際の鍵盤よりも高い音を出す)。
音の高さを微調整する(チューニング)	楽器全体の音の高さを微調整します。ほかの楽器やCDなどと合わせて演奏する際に、音の高さを正確に合わせることができます。 <b>設定範囲</b> ：414.8Hz～440.0Hz～466.8Hz	B-1	元の設定(440.0Hz)に戻します。
		C0	音の高さを、442.0Hzに設定します。
		C#0	約0.2Hzずつ音の高さを下げます(-0.2Hz)。
		D0	約0.2Hzずつ音の高さを上げます(+0.2Hz)。



項目	説明	鍵盤	内容
リバーブタイプの設定	演奏音に、コンサートホールで弾いたような残響音(リバーブ)を加えます。音色を選ぶと、その音色に最適なリバーブが自動的に設定されますが、自分でリバーブの種類を設定できます。	G#6	リサイタルホール：ピアノリサイタル向けの中規模ホールのクリアな響きになります。
		A6	コンサートホール：オーケストラの公演が行なわれる、大きなホールの華やかな響きになります。
		A#6	サロン：室内楽に適した、宮廷内の広間の落ち着きのある響きになります。
		B6	クラブ：ライブハウスやジャズクラブのメリハリのある響きになります。
		C7	オフ：リバーブはかかりません。
リバーブの深さの調節	リバーブのかかり具合を調節します(手弾き音のみ有効)。 <b>設定範囲</b> ：0～20	F6	1ずつ減ります。
		F#6	初期設定(現在の音色に最適な深さ)に戻ります。
		G6	1ずつ増えます。

# 曲(ソング)を再生する

## 音色デモ曲を聞く

この楽器には、ピアノやオルガンといった音色ごとにその音色の特徴がよくわかるデモ曲が用意されています。

### 1 [DEMO/SONG]を押したまま、聞きたい音色のボタンを1回または2回押します。

同じ音色ボタンを押すことでランプの点灯/消灯が切り替わります。点灯/消灯では、下側/上側に印刷された音色が、それぞれ選択されています。音色選択が終わったら、ボタンから指を離します。選択した音色のデモ曲から順に(ボタンの左から右へ)再生されます。

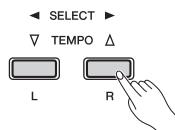


#### NOTE

- ・[DEMO/SONG]だけを押した場合は、グランドピアノのデモ曲から順に再生されます。

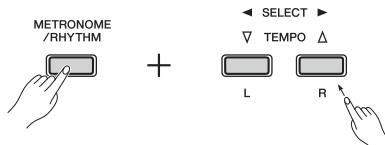
#### 再生中のデモ曲切替

- 音色を選ぶ操作(13ページ)により、デモ曲を切り替えられます。
- SELECT [ $\blacktriangleleft$ ]/[ $\triangleright$ ]をそれぞれ押すと前後のデモ曲に切り替わります。



#### 再生中のテンポ変更

[METRONOME/RHYTHM]を押したままTEMPO [ $\triangledown$ ]/[ $\triangle$ ]を押すごとに、テンポが1ずつ遅く/速くなります。



#### デモ曲リスト

音色名	曲名	作曲者
メローグランド	6つの小品 第2番 間奏曲 op.118-2	J. ブラームス
パイプオルガン	オルガン小曲集「神のひとり子なる主キリスト」BWV.601	J.S.バッハ
ハープシコード	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV.1058	J.S.バッハ

上記デモ曲は、原曲を編集/抜粋したものです。その他のデモ曲は、ヤマハのオリジナルです。(©2014 Yamaha Corporation)

### 2 再生を止めるには[DEMO/SONG]を押します。

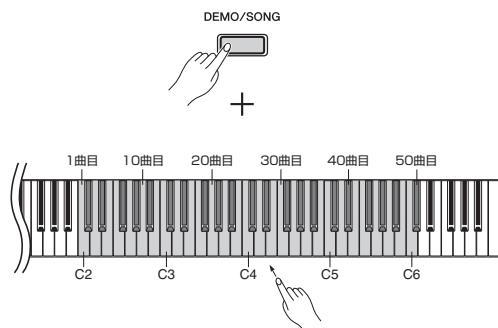
## ピアノ50曲を聞く

この楽器には、デモ曲のほかにピアノ50曲の演奏データが入っています。付属の『ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)』から好きな曲を選んで聞いてみましょう。

### 1 [DEMO/SONG]を押したまま、C2～C#6のどれかを押します。

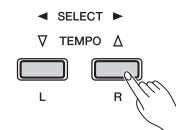
選んだ番号から順に、ピアノ50曲が連続して再生されます。

ピアノ曲番号の鍵盤への割り当ては、『クイックオペレーションガイド』(28ページ)をご覧ください。



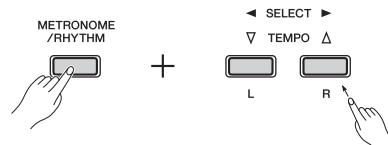
#### 再生中のピアノ曲切り替え

- [DEMO/SONG]を押したままC2～C#6を押します。
- SELECT [ $\blacktriangleleft$ ]/[ $\triangleright$ ]を押すと、前後の曲に切り替わります。



#### 再生中のテンポ変更

[METRONOME/RHYTHM]を押したままTEMPO [ $\triangledown$ ]/[ $\triangle$ ]を押すごとに、テンポが1ずつ遅く/速くなります。



### 2 再生を止めるには[DEMO/SONG]を押します。



# メトロノーム/リズムを鳴らす

メトロノームは、正確なテンポで練習するときに便利な機能です。

この楽器には、メトロノーム音(クリック音)だけでなく14種類のリズム(27ページ)も内蔵しており、楽しく練習ができます。

- [METRONOME/RHYTHM]を押すと、メトロノームまたはリズムがスタートします。



- もう一度[METRONOME/RHYTHM]を押すと、停止します。

本  
編

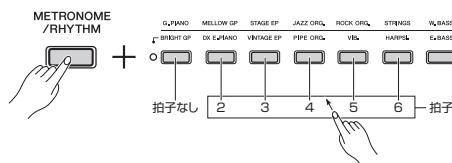
## メトロノームの拍子の設定

[METRONOME/RHYTHM]を押したままA0～D1のどれかを押して、メトロノームの拍子を設定します。

※ 鍵盤上部の印刷(METRONOME 1～6)を参照してください。



[METRONOME/RHYTHM]を押したまま音色ボタンのどれかを押すことでも、メトロノームの拍子を設定できます。



## リズムの選択

[METRONOME/RHYTHM]を押したままE1～F2のどれかを押して、リズムを選びます。

リズムの鍵盤への割当は、『クイックオペレーションガイド』(28ページ)をご覧ください。

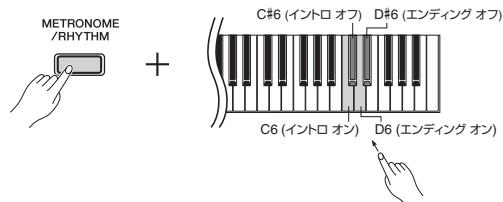


### イントロ/エンディングのオン/オフの設定

リズムの始まりと終わりには、イントロ/エンディングが流れます。イントロ/エンディングは、鳴らす(オン)/鳴らさない(オフ)を選択できます。[METRONOME/

RHYTHM]を押したまま、C6～D#6のいずれかの鍵盤を押します。

初期設定：オン



## メトロノーム/リズムのテンポ設定

### テンポを1ずつ増減する

メトロノーム/リズム再生中はTEMPO [▽]/[△]を押します。停止中は、[METRONOME/RHYTHM]を押したままTEMPO [▽]/[△]を押します。

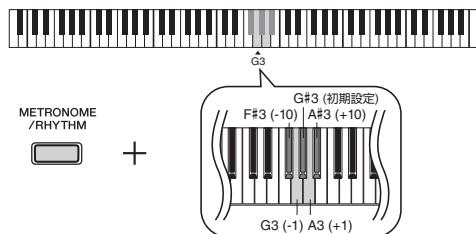
### テンポを初期設定(120)に戻す

メトロノーム/リズム再生中は、TEMPO [▽]と[△]を同時に押します。停止中は、[METRONOME/RHYTHM]を押したままTEMPO [▽]と[△]を同時に押します。

### テンポを1または10ずつ増減する

[METRONOME/RHYTHM]を押したままF#3～A#3のどれかを押します。

※ 鍵盤上部の印刷(TEMPO -10～+10)を参照してください。



### テンポを数値で設定する

[METRONOME/RHYTHM]を押したまま、G#2～F3のいずれかの鍵盤を押します。たとえば、95に設定する場合は、[METRONOME/RHYTHM]を押したままG#2(0)→F3(9)→C#3(5)と押します。

※ 鍵盤上部の印刷(TEMPO 0～9)を参照してください。

## メトロノーム/リズムの音量の設定

[METRONOME/RHYTHM]を押したままA-1～F#0のどれかを押して、メトロノーム/リズムの音量を設定します。

設定範囲：1～10

初期設定：7

※ 鍵盤上部の印刷(VOLUME 1～10)を参照してください。

# 演奏に伴奏を付ける(ピアニストスタイル)

左手でコードを押さえるだけで、そのコードに合ったアルペジオが自動で演奏される機能です。

## 1 [PIANIST STYLE]を押します(ランプ点滅)。

スプリットポイントから左側がコード鍵域に、右側がメロディー鍵域になります。



スプリットポイント(初期設定: F#2)



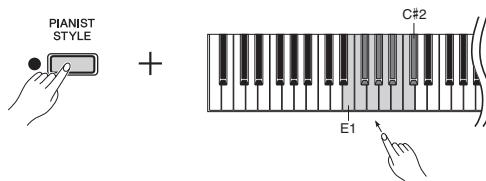
### スプリットポイントの変更

スプリットと同じです。(→14ページ)

最低音から押した鍵盤までがコード鍵域となります。

## 2 [PIANIST STYLE]を押したままE1～C#2のどれかを押して、ピアニストスタイルを選びます。

ピアニストスタイルの鍵盤への割当は、『クイックオペレーションガイド』(28ページ)をご覧ください。



## 3 コード鍵域でコードを押さえます。

ピアニストスタイルの自動演奏がスタートします。  
右手でメロディーを弾きましょう。

### NOTE

- コードの押さえ方は、市販のコード表などをご参考ください。
- ピアニストスタイルとリズムは同時に鳴らせません。

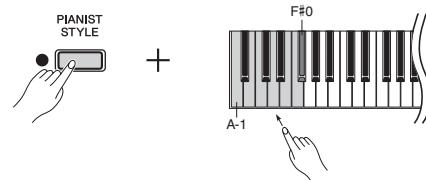
### ピアニストスタイルの音量の設定

[PIANIST STYLE]を押したままA-1～F#0のどれかを押すことで、ピアニストスタイルの音量を設定できます。

設定範囲：1～10

初期設定：7

※鍵盤上部の印刷(VOLUME 1～10)を参照してください。



### ピアニストスタイルのテンポの変更

メトロノーム/リズムのテンポ設定と同じです。(→18ページ)

[PIANIST STYLE]と鍵盤操作でもテンポの設定ができます。鍵盤への割当は、『クイックオペレーションガイド』(28ページ)をご覧ください。

## 4 [PIANIST STYLE]を押すと、ピアニストスタイルの自動演奏が停止し、通常状態に戻ります。

# 演奏を録音する

自分の演奏を録音し、ユーザーソング(SMFフォーマット)としてこの楽器に保存できます。L/Rの2パートがあるので、パートごとの録音もできます。

## 注記

- ・録音できるユーザーソングは1曲だけなので、録音により既存のデータは消えます。録音データがある場合は[PLAY]ランプが点灯しているので、十分ご注意ください。なお、録音データを保存しておきたい場合は、コンピューターにSMFファイル(UserSong1.mid)として転送/保存しておきましょう。詳細は、電子ファイル「コンピューターとつなぐ」をご参照ください。

## NOTE

- ・この楽器に録音できる容量は、100KB(およそ11,000音符)です。

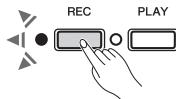
## かんたん録音

### 1 録音の前に、音色や拍子などを設定しておきます。

ピアニストスタイルによる演奏を録音したい場合は[PIANIST STYLE]をオンにしておくなど、演奏方法に合わせた設定をしましょう。録音モードに入ってからでは設定できない項目もあるので、あらかじめ設定しておきます。

### 2 [REC]を押して録音待機状態にします。

[REC]ランプがテンポに合わせて点滅します。必要に応じてテンポを設定します(18ページ)。

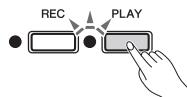


## NOTE

- ・ソング再生中は、[REC]を押しても録音待機状態にはなりません。
- ・メトロノーム/リズムを鳴らしながら録音できます。ただし、メトロノーム/リズム音は録音されません。また、ピアニストスタイルによる演奏を録音する場合は、メトロノーム/リズムを鳴らせません。

### 3 鍵盤を弾くか[PLAY]を押すと、録音が開始されます。

[REC]ランプが点灯に変わり、[PLAY]ランプがテンポに合わせて点滅します。



鍵盤を弾いて、演奏しましょう。



### 4 録音を停止するには、[REC]または[PLAY]を押します。

録音されたデータは内部メモリーに書き込まれます。内部メモリーへの書き込み中は[REC]と[PLAY]のランプが点滅します。

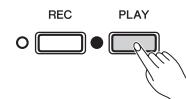
書き込みが終了すると[REC]のランプは消灯します。

## 注記

- ・内部メモリーへの書き込み中([REC]と[PLAY]のランプが点滅中)は電源を切らないでください。データが失われます。

### 5 録音した曲(ユーザーソング)を聞くには、[PLAY]を押します。

もう一度[PLAY]を押すと再生が停止します。



## かんたん録音した曲のパート内容

ピアニストスタイル、スプリット、デュオを設定している場合は、かんたん録音を行なうと、下表のようにLパート、Rパートに演奏が録音されます。

	Lパート	Rパート
ピアニストスタイル	左手鍵域でのコード変更	右手の演奏
スプリット、デュオ	左手側/左奏者側の演奏	右手側/右奏者側の演奏

## パートごとに録音する

LパートまたはRパートのどちらかを選んで録音できます。

## 注記

- すでに録音したデータがあるパートを選んで録音した場合、その前に録音されていたデータは上書きされ、消えてしまいます。

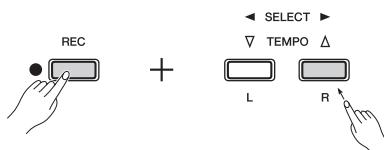
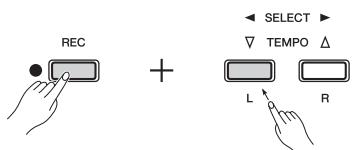
## NOTE

- ピアニストスタイル、スプリット、デュオを設定している場合は、パートを選んで録音することはできません。かんたん録音を行なってください。

### 1 録音の前に、音色や拍子などを設定しておきます。

### 2 [REC]を押したまま、録音するパートのボタン([R]または[L])を押します。

パート別録音の待機状態になります。

**Rパートに録音する場合****Lパートに録音する場合**

録音待機状態になり、[REC]ランプがテンポに合わせて点滅します。必要に応じてテンポを設定します（18ページ）。

**もう一方のパートに、すでに録音したデータがある場合**

録音を開始すると、録音済みデータのあるパートは再生されるので、それに合わせて演奏し録音できます。また、[PLAY]を押しながらこのパートのボタン([R]または[L])を押すことで、再生音のオン/オフを切り替えられます。

**[NOTE]**

- ・録音中にメトロノーム/リズムを鳴らせますが、録音はされません。

**3 鍵盤を弾くか[PLAY]を押すと、録音が開始されます。**

[REC]ランプが点灯に変わり、[PLAY]ランプがテンポに合わせて点滅します。

**4 録音を停止するには、[REC]または[PLAY]を押します。**

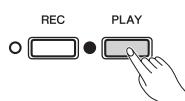
録音されたデータは内部メモリーに書き込まれます。内部メモリーへの書き込み中は[REC]と[PLAY]のランプが点滅します。書き込みが終了すると[REC]のランプは消灯します。

**注記**

- ・内部メモリーへの書き込み中（[REC]と[PLAY]のランプが点滅中）は電源を切らないでください。データが失われます。

**5 もう片方のパートに録音する場合は、上記手順1～4を繰り返します。****6 録音した曲（ユーザーソング）を聞くには、[PLAY]を押します。**

もう一度[PLAY]を押すと再生が停止します。

**ユーザーソングを削除する****1 [REC]を押して録音待機状態にします。**

[REC]ランプがテンポに合わせて点滅します。

**2 [PLAY]を押したまま[REC]を押して削除待機状態にします。**

[PLAY]と[REC]両方のランプが点滅します。

**[NOTE]**

- ・削除待機前の状態に戻るには、[PLAY]と[REC]以外のボタン（[DEMO/SONG]など）を押します。

**3 削除するには、[PLAY]、[REC]、[L]、[R]のいずれかを押します。**

[PLAY]と[REC]のランプが交互に点灯（削除中）したあと、両方のランプが消灯（削除終了）します。

**パートを選んで削除する****1 [REC]を押したまま、消したいパートのボタン（[R]または[L]）を押して録音待機状態にします。**

[REC]ランプがテンポに合わせて点滅します。

**2 [PLAY]を押して録音を開始します。鍵盤は弾かないでください。****3 削除するには、[REC]または[PLAY]を押します。****ユーザーソングの設定を書き換える**

以下の設定情報は、録音を終えた後でも変更できます。

**パートごとに設定できる情報**

音色、音量バランス、リバーブの深さ、ペダル（ダンパー/ソフト）

**ユーザーソング（L、Rパート共通）に設定する情報**

テンポ、リバーブタイプ、ピアニストスタイル音量

これらの設定情報は、以下の手順により書き換えられます。

**1 パネル操作により、上記項目をそれぞれ書き換える内容に設定します。**

次ページに続く

## 2 [REC]を押したまま[R]または[L]を押して、設定を書き換えるパートを選びます。

L、R両パートに共通して録音される情報は、どちらのパートを選んでも書き換えられます。

録音待機状態になり、[REC]ランプがテンポに合わせて点滅します。

## 注記

- 録音待機状態で、[PLAY]または鍵盤を押さないでください。録音が開始され、すでにあるユーザーソングを消してしまいます。

## 3 [REC]を押すと設定情報が書き込まれ、録音待機状態が解除されます。

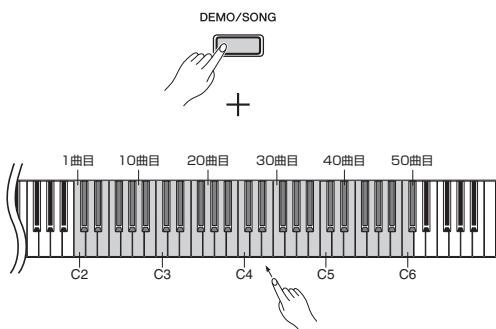
# 曲に合わせて演奏する(パート再生)

ピアノ50曲(17ページ)およびユーザーソングは、LパートまたはRパートのどちらか一方をミュート(鳴らさない)して再生できます(音色デモ曲ではできません)。たとえば、「ピアノ曲のRパートをミュートしてLパートだけを聞きながら、右手のメロディーを自分で弾く」といったことができます。

## 1 ソング再生をスタートします。

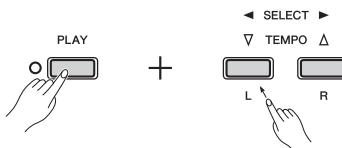
ユーザーソングをスタートする場合は、[PLAY]を押します。

ピアノ曲をスタートする場合は、[DEMO/SONG]を押したまま鳴らしたい曲の鍵盤(C2～C#6)を押します。各鍵盤とピアノ曲番号については、『クイックオペレーションガイド』(28ページ)をご覧ください。

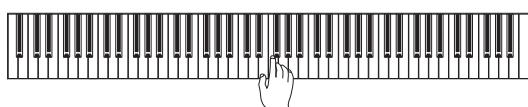


## 2 ソング再生中、[PLAY]を押したまま、ミュートしたいパートのボタン[R]または[L]を押します。

押すごとにミュートする/しないが切り替わります。



## 3 鳴っているパートの再生を聞きながら、鳴っていないパートを弾いて練習しましょう。



## 4 再生を止めるには、[PLAY]を押します。

## NOTE

- ピアノ曲を切り替えると、ミュートは解除されます。

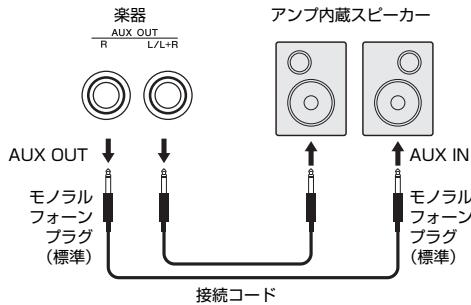
# 他の機器と接続する

## △注意

- 他の機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入/切する前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

## 外部スピーカーを使う

この楽器にアンプ内蔵スピーカーなどを接続して、より大きな音を出します。接続コードを使って図のように接続します。



### 注記

- スピーカー接続後は、楽器の電源を入れてから、外部機器の電源を入れてください。電源を切るときは、外部機器を切ってから、楽器の電源を切ってください。

### NOTE

- 接続ケーブルおよび接続プラグは抵抗のないものをお使いください。
- 本体音をモノラル信号で取り出すときは、[L/L+R]端子に接続してください。

## 本体スピーカーのオン/オフの設定

外部スピーカーに接続したとき、楽器本体のスピーカーから音を出す(オン)、出さない(オフ)を設定できます。設定は[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままD4を押すとオン、D#4を押すとオフになります。

初期設定：オン

※ 鍵盤上部の印刷(SPEAKER ON/OFF)を参照してください。

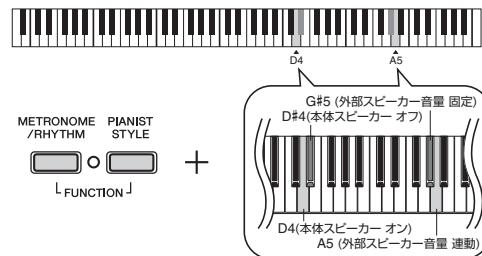
## 外部スピーカーの音量の調節

外部スピーカーから出力する音量を、楽器の[MASTER VOLUME]に連動して調節するか(連動)、[MASTER VOLUME]とは連動せず、いつも固定の音量で再生するか(固定)設定します。設定は、[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したままG#5を押すと「固定」、A5を押すと「連動」になります。

初期設定：連動

### NOTE

- 「固定」に設定した場合、ヘッドフォンの音量も同じように固定された音量になります。



## iPhone/iPadと接続する

iPhoneやiPadのアプリケーションと楽器と一緒に使えば、さまざまな楽しい機能が使えるようになります。接続については、ヤマハのウェブサイト上(4ページ)の「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

## スマートデバイスアプリケーション「Digital Piano Controller」

専用のアプリケーション「Digital Piano Controller」(無料)をiPhone/iPad/iPod touch上で使用すると、外部から楽器本体の機能をコントロールでき、大変便利です。iPhone/iPad/iPod touchの画面上で、視覚的にもわかりやすく直観的な操作ができます。「Digital Piano Controller」や、その他の対応アプリケーションについては、以下のウェブサイトをご確認ください。

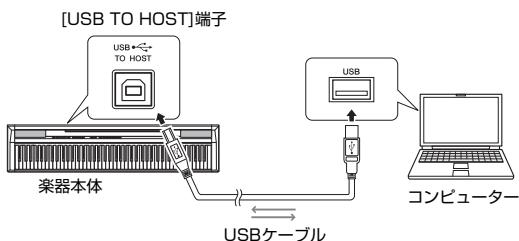
<http://jp.yamaha.com/kbdapps/>

本

編

## コンピューターと接続する

USBケーブルを使って楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続すると、コンピューターとMIDIデータをやり取りしたり、コンピューター用の音楽ソフトを楽しんだりできます。コンピューターとの接続方法やデータの転送方法など、詳しくは電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」(4ページ)をご覧ください。



**[NOTE]**

- USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。

### コンピューターと送受信できるファイル

- ユーザーソング(UserSong1.mid)
- 拡張子が.midのMIDIソングファイル(SMFフォーマット0、フォーマット1)

**注記**

- コンピューターから楽器本体にSMFファイルを転送すると、ユーザーソングにある既存のデータは消えてしまいます。必ず事前に、本体のユーザーソング(SMFファイル)をコンピューターに転送しておきましょう。

**[NOTE]**

- SMFフォーマット0や1のデータでも、この楽器が対応しないデータを含む場合は、データどおりに再生できません。

# バックアップと初期化

以下の設定やデータは自動的にバックアップされるので、電源を切っても消えません。

### バックアップデータ

メトロノーム/リズム音量、メトロノーム/リズム設定(拍子またはリズム番号)、タッチ感度、チューニング、スプリットポイント、ピアニストスタイル音量、オートパワー・オフ機能、ダンパーレジナンス オン/オフ、IAC オン/オフ、IAC補正のかかり具合、ユーザーソング、イントロ/エンディング オン/オフ、鍵盤操作音 オン/オフ、AUX OUT音量設定

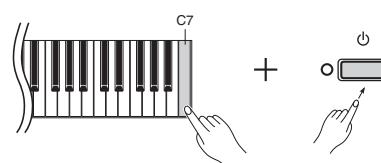
### ユーザーソングをコンピューターに保存する

上記バックアップデータのうち、ユーザーソング(UserSong1.mid)だけはコンピューターに転送しスタンダードMIDIファイル(SMF)として保存ができます。詳細は、電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」(4ページ)をご覧ください。

### バックアップデータを初期化する

バックアップデータを工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」といいます。

C7(右端の鍵盤)を押したまま[REC](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れると、初期化されます。



初期化実行中は[REC]と[PLAY]のランプが点滅します。初期化が終了すると[REC]と[PLAY]のランプは消灯します。

**注記**

- 初期化実行中([REC]と[PLAY]のランプが点滅中)は電源を切らないでください。

**[NOTE]**

- 本機が正常に動作しない場合、初期化を試してみてください。

# 困ったときは

現象	原因と解決方法
電源が入らない。	電源アダプターは正しく接続されていますか。電源アダプターを本体とコンセントに確実に差し込んでください。(→10ページ)
電源が自動的に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を無効にしてください。(→10ページ)
スピーカー / ヘッドフォンから雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使用していませんか。携帯電話の電源を切るか楽器から離れて使用してください。
iPhone/iPad/iPod touchのアプリケーションと楽器と一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音(ノイズ)が出る。	iPhone/iPad/iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPad/iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
[MASTER VOLUME]が下がっていませんか。上げてみてください。(→11ページ)	
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	本体スピーカーの設定がオフになってしまっていますか。(→23ページ) [PHONES]端子にヘッドフォン、または変換アダプターが接続されていませんか。(→11ページ) ローカルコントロールの設定がオンになっていますか。(→電子マニュアル『MIDIリフレンス』参照)
[MASTER VOLUME]で音量を変えても、ヘッドフォンの音量が変わらない。	外部スピーカーの音量を「固定」に設定していませんか。「連動」に設定してください。(→23ページ)
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	異常ではありません。ピアノ音色では、ピアノ本来の音ができる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[SUSTAIN]端子/[PEDAL UNIT]端子に確実に接続されているか確認してください。(→12ページ)
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。(フットスイッチを踏むと音がカットされ、離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたため、フットスイッチの極性が逆になっています。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。

## 仕様

### 寸法 [幅×奥行き×高さ]

・ 1326×295×163 (mm)

### 質量

・ 11.8 kg

### 鍵盤

- ・ 88鍵(A-1～C7)
- ・ グレードハンマースタンダード(GHS)鍵盤黒鍵マット仕上げ
- ・ タッチ感度：ハード/ミディアム/ソフト/フィックス

### 音源/音色

- ・ 音源：RGE スタンダードⅡ音源
- ・ 最大同時発音数：192
- ・ ブリセット：14

### 効果/機能

- ・ リバーブ：4種類
- ・ ダンパーレゾナンス
- ・ サウンドブースト
- ・ デュアル
- ・ スプリット
- ・ デュオ
- ・ インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)

### ピアニストスタイル

- ・ 10スタイル

### 内蔵ソング

- ・ デモ曲14 + ピアノ曲50

### 録音

- ・ 録音曲数：1曲
- ・ 録音トラック数：2
- ・ データ容量：1曲100KB(約11,000音符)
- ・ フォーマット：  
　再生：SMF (フォーマット0、フォーマット1)  
　録音：SMF (フォーマット0)

### ファンクション

- ・ トランスポーズ：-6～0～+6
- ・ チューニング：414.8Hz～440.0Hz～466.8Hz
- ・ メトロノーム
- ・ リズム：14
- ・ テンポ：5～280

### 接続端子

- ・ DC IN (12V)端子、PHONES端子(標準ステレオ)×2、SUSTAIN端子、PEDAL UNIT端子、USB TO HOST端子、AUX OUT端子

### メインアンプ

- ・ 7W × 2

### スピーカー

- ・ 12 cm × 2 + 4 cm × 2

### 電源

- ・ 電源アダプター：PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品
- ・ 消費電力：6 W (電源アダプター PA-150B 使用時)
- ・ オートパワーオフ機能

### 付属品

- ・ 保証書、取扱説明書(本書)、ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)、電源アダプター (PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品)、フットスイッチ、譜面立て、製品ユーザー登録のご案内

### 別売品

- ・ ヘッドフォン(HPE-30/HPE-150)、フットペダル(FC3A)、フットスイッチ(FC4A/FC5)、キーボードスタンド(L-85/L-85WH)、ペダルユニット(LP-5A/LP-5AWH)、電源アダプター (PA-150Aまたはヤマハ推奨の同等品)、iPhone/iPod touch/iPad用USB MIDIインターフェース(i-UX1)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。  
取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

資

料

# 索引

資料

<b>D</b>	Digital Piano Controller.....	23
<b>I</b>	iPhone/iPad接続マニュアル .....	4
	iPhone/iPadと接続する.....	23
<b>M</b>	MIDI入門.....	4
	MIDIリファレンス .....	4
<b>I</b>	インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC).....	11
<b>O</b>	オートパワーオフ機能 .....	10
	オクターブを上げる/下げる .....	14, 15
	音色 .....	13
	音色デモ曲 .....	17
	音色リスト .....	13
	音量 .....	11
	音量バランス .....	14, 15
<b>K</b>	外部スピーカー .....	23
<b>#</b>	キー(調) .....	16
<b>ク</b>	クイックオペレーションガイド .....	28
<b>コ</b>	困ったときは .....	25
	コンピューターと接続する .....	24
	コンピューターとつなぐ .....	4
<b>サ</b>	再生 .....	17
	サウンドブースト .....	13
<b>シ</b>	仕様 .....	25
	初期化 .....	24
<b>ス</b>	スピーカーのオン/オフの設定 .....	23
	スプリット .....	14
	スプリットポイント .....	14
	スマートデバイスアプリケーション .....	23
<b>ン</b>	操作音 .....	11
	ソステナートペダル .....	12
	ソフトペダル .....	12
<b>タ</b>	タッチ感度 .....	16
	ダンパーペダル .....	12
	ダンパーレゾナンス .....	12
<b>チ</b>	チューニング .....	16

<b>テ</b>	デモ曲リスト .....	17
	デュアル .....	13
	デュオ .....	15
	電源 .....	10
	電源アダプター .....	10
	電子マニュアル .....	4
	テンポ .....	18
<b>ト</b>	トランスポーズ .....	16
	取扱説明書 .....	4
<b>ハ</b>	パート再生 .....	22
	ハーフペダル機能 .....	12
	バックアップ .....	24
<b>ヒ</b>	ピアニストスタイル .....	19
	ピアニストスタイル一覧 .....	27
	ピアノ50曲 .....	17
	ピアノ50曲リスト .....	27
<b>フ</b>	フットスイッチ .....	12
	譜面立て .....	4
<b>ヘ</b>	ペダルユニット .....	12
	ヘッドフォン .....	11
<b>メ</b>	メトロノーム .....	18
<b>ユ</b>	ユーザーソング .....	21
<b>リ</b>	リスト .....	27
	リズム .....	18
	リズム一覧 .....	27
	リバーブ .....	16
<b>ロ</b>	録音 .....	20

# リスト

## ピアノ50曲(ピアノで弾く名曲50選)リスト

番号	鍵盤	作品名	作曲者
1	C2	インベンション 第1番	J.S.バッハ
2	C#2	インベンション 第8番	J.S.バッハ
3	D2	ガボット	J.S.バッハ
4	D#2	前奏曲(平均律第1巻第1番)	J.S.バッハ
5	E2	メヌエットト長調	J.S.バッハ
6	F2	かっこう	L-C.ダカン
7	F#2	ピアソナタ 第15番 第1楽章	W. A. モーツアルト
8	G2	トルコ行進曲	W. A. モーツアルト
9	G#2	メヌエットト長調	W. A. モーツアルト
10	A2	リトル・セナーデ	J. ハイドン
11	A#2	ソナタ 第1番終楽章 「無窮動」	C. M. v. ウェーバー
12	B2	エコセーズ	L. v. ベートーヴェン
13	C3	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン
14	C#3	トルコ行進曲	L. v. ベートーヴェン
15	D3	ピアソナタ 第8番 「悲愴」第2楽章	L. v. ベートーヴェン
16	D#3	ピアソナタ 第14番 「月光」第1楽章	L. v. ベートーヴェン
17	E3	ピアソナタ 第20番 ト長調 第1楽章	L. v. ベートーヴェン
18	F3	即興曲 作品90 第2番	F. P. シューベルト
19	F#3	楽興の時 第3番	F. P. シューベルト
20	G3	春の歌	J. L. F. メンデルス ゾーン
21	G#3	狩人の歌	J. L. F. メンデルス ゾーン
22	A3	幻想即興曲	F. F. ショパン
23	A#3	雨だれの前奏曲	F. F. ショパン
24	B3	黒鍵のエチュード	F. F. ショパン
25	C4	別別の曲	F. F. ショパン
26	C#4	革命のエチュード	F. F. ショパン
27	D4	小犬のワルツ	F. F. ショパン
28	D#4	ワルツ 第7番	F. F. ショパン
29	E4	ワルツ 第9番 「告別」	F. F. ショパン
30	F4	夜想曲 第2番 変ホ長調	F. F. ショパン
31	F#4	トロイメライ	R. シューマン
32	G4	楽しき農夫	R. シューマン
33	G#4	乙女の祈り	T. バダジエフスカ
34	A4	人形の夢と目覚め	T. エステン
35	A#4	アラベスク	J. F. ブルグミュラー
36	B4	牧歌	J. F. ブルグミュラー
37	C5	貴婦人の乗馬	J. F. ブルグミュラー
38	C#5	愛の夢 第3番	F. リスト
39	D5	花の歌	G. ラング
40	D#5	舟歌	P. I. チャイコフス キー
41	E5	ヘ調のメロディ	A. ルビンシテイン
42	F5	ユーモレスク	A. ドヴォルザーク
43	F#5	タンゴ(スペインより)	I. アルベニス
44	G5	エンターテイナー	S. ジョプリン
45	G#5	メイプル・リーフ・ラグ	S. ジョプリン
46	A5	亜麻色の髪の乙女	C. A. ドビュッシー
47	A#2	アラベスク 第1番	C. A. ドビュッシー
48	B5	月の光	C. A. ドビュッシー
49	C6	夢	C. A. ドビュッシー
50	C#6	ケークウォーク	C. A. ドビュッシー

## リズム一覧

番号	鍵盤	リズム名
1	E1	8Beat 1
2	F1	8Beat 2
3	F#1	16Beat 1
4	G1	16Beat 2
5	G#1	16Beat Shuffle
6	A1	Shuffle
7	A#1	6/8 SlowRock
8	B1	Disco
9	C2	Swing
10	C#2	Jazz Waltz
11	D2	Bossa Nova
12	D#2	Samba
13	E2	Latin Pop
14	F2	6/8 March

## ピアニストスタイル一覧

番号	鍵盤	ピアニストスタイル名
1	E1	Arpeggio
2	F1	8Beat Ballade
3	F#1	Rag
4	G1	Boogie
5	G#1	Swing
6	A1	Blues
7	A#1	Slow Rock
8	B1	Jazz Ballad
9	C2	Waltz
10	C#2	Jazz Waltz

# クリックオペレーションガイド

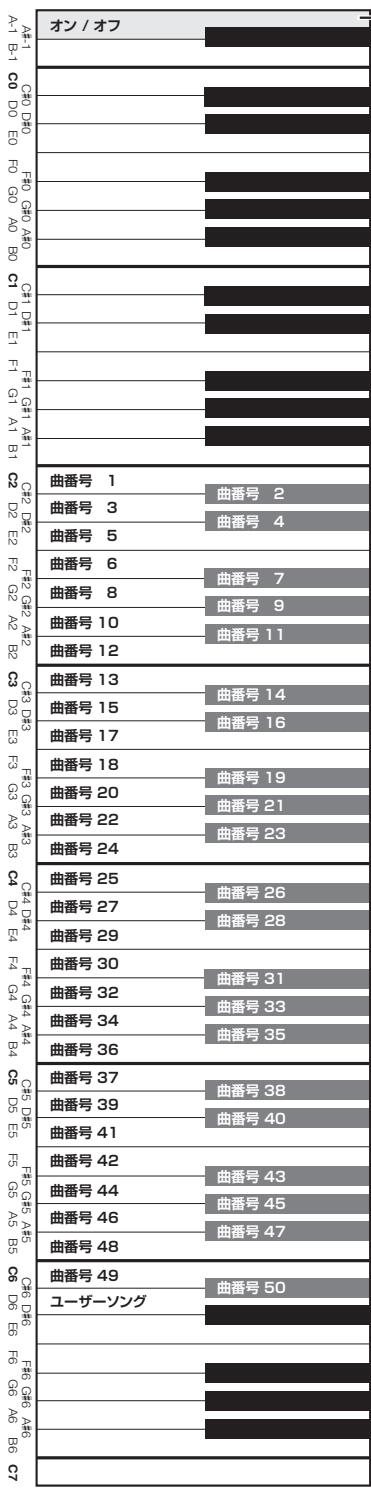
①、②では[DEMO/SONG]か[PIANIST STYLE]を押したまま、グレーの鍵盤のどれかを押して、曲やピアニストスタイルを選んだり値を設定したりします。

1



ピアニスト作曲

ピアノ50曲

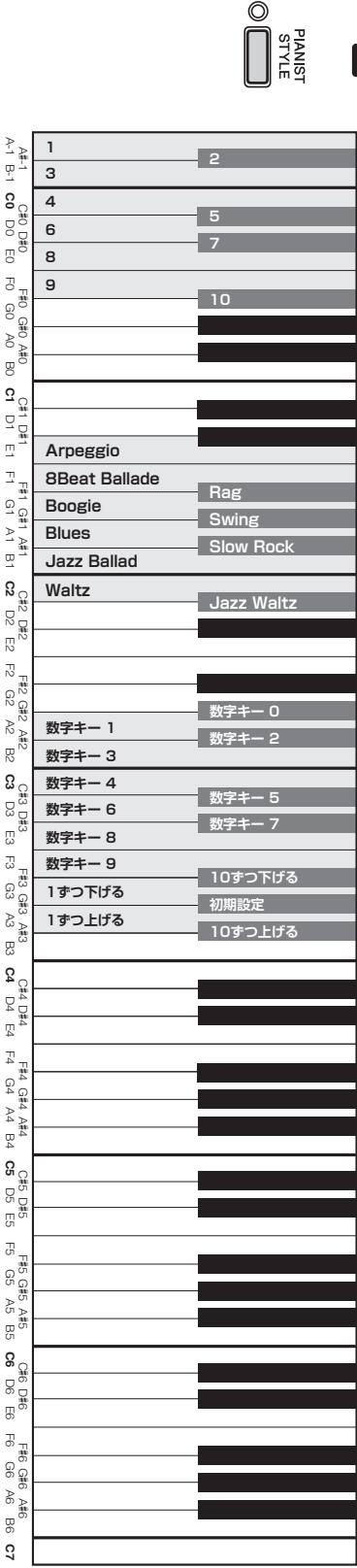


2

ピアニストスタイルの音量

ピアニストスタイル

ピアニストスタイルのテンポ



## クリックオペレーションガイド

3 では[METRONOME/RHYTHM]を押したまま、グレーの鍵盤のどれかを押して、リズムを選んだり値を設定したりします。

4 では[METRONOME/RHYTHM]と[PIANIST STYLE]を同時に押したまま、グレーの鍵盤のどれかを押して、値を設定します。

3



メトロノームリズムの音量

メトロノームの拍子

リズム

メトロノームリズムのテンポ

オクターブシフト

2音色の音量ランク

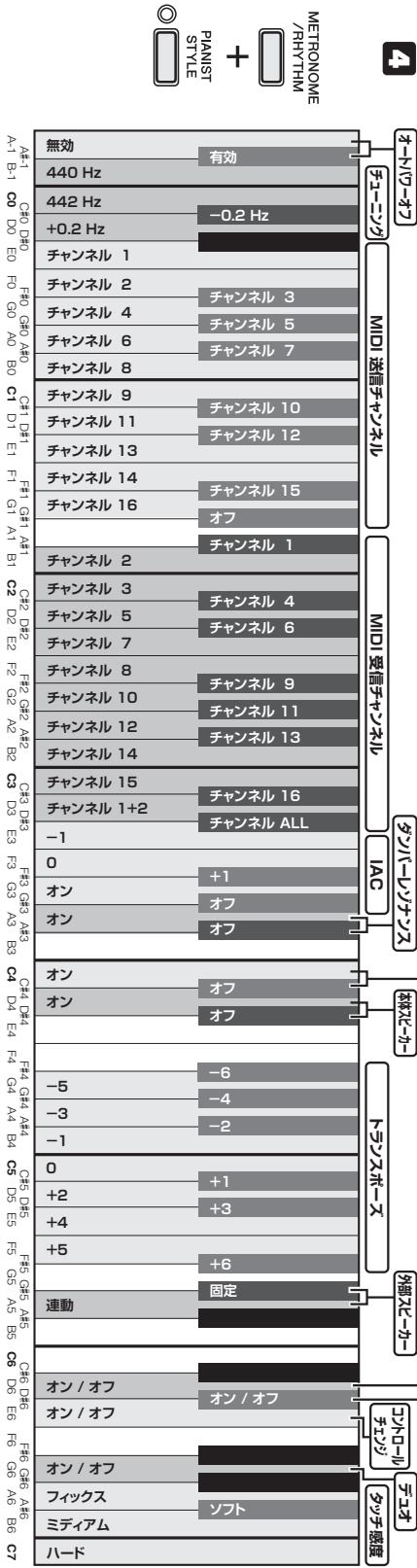
パンチング

リバーブの深さ

リバーブタイプ

1	2
3	5
4	7
6	10
8	2
9	5
拍子なし	8Beat 1
3	8Beat 2
4	16Beat 2
6	Shuffle
8Beat 1	16Beat Shuffle
8Beat 2	6/8 SlowRock
16Beat 2	Disco
Shuffle	Swing
6/8 SlowRock	Jazz Waltz
Disco	Bossa Nova
Swing	Samba
Jazz Waltz	Latin Pop
Samba	6/8 March
Latin Pop	数字キー 0
6/8 March	数字キー 2
数字キー 0	数字キー 3
数字キー 2	数字キー 4
数字キー 3	数字キー 5
数字キー 4	数字キー 6
数字キー 5	数字キー 7
数字キー 6	数字キー 8
数字キー 7	数字キー 9
数字キー 8	1すつ下げる
数字キー 9	1すつ上げる
1すつ下げる	10すつ上げる
初期設定	10すつ下げる
1すつ上げる	初期設定
10すつ上げる	1すつ下げる
初期設定	1すつ上げる
1すつ下げる	初期設定(第1音色)
1すつ上げる	初期設定(第2音色)
初期設定(第1音色)	-1(第1音色)
初期設定(第2音色)	+1(第1音色)
-1(第2音色)	-1(第2音色)
+1(第2音色)	+1(第2音色)
-1	-1
初期設定	初期設定
+1	+1
イントロ オン	イントロ オフ
エンディング オン	エンディング オフ
F6 G6 A6 B6 C7	C6 D6 E6 F6 G6 A6 B6 C7
イントロ オフ	イントロ オン
エンディング オフ	エンディング オン
-1	-1
+1	+1
初期設定	初期設定
コンサートホール	リサイタルホール
クラブ	サロン
オフ	オフ

4



**MEMO**

資料

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

## ● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ● 保証期間

保証書をご覧ください。

## ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。

有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

### 有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申付けください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆ 修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター



ナビダイヤル（全国共通番号）

**0570-012-808**

\* 固定電話は、全国市内通話料金をご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830へおかけください。

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝日および弊社休業日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/北陸) 06-6465-0367

## ◆ 修理品お持込み窓口

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F FAX 06-6465-0374

## ◆ 電子ピアノの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

### お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル（全国共通番号）

**0570-006-808**

\* 固定電話は、全国市内通話料金をご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-5272へおかけください。

営業時間

月曜日～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

## ◆ ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ

<http://jp.yamaha.com/>

ヤマハ ピアノ・鍵盤楽器サイト

<http://jp.yamaha.com/piano/>

ヤマハ ダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp/>

ヤマハ 音楽データショップ

<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

\* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

資

料

ヤマハ株式会社

C.S.G., DMI Development Division  
© 2014 Yamaha Corporation

2014年12月 発行 PO##.\*-\*\*A0  
Printed in China

ZN90970



ZN90970